

ネイチャーセンターだより

アオサギ

Ardea cinerea

遠くから見ると、ツルのように首と足が長いサギの仲間、アオサギが風蓮湖や春国岱の水辺でたくさん見られるようになります。多い時には300羽にもなります。

アオサギの主食は魚です。観察していると、ずっと水面を見つめていたかと思うと、一瞬のうちに長くちばしを水中に突き刺し、魚を捕まえます。時には大きすぎる魚を捕まえてしまい、飲み込みづらそうにしながらも、なんとか食べていることも。

多くのアオサギをはじめ、カモメの仲間、タンチョウやオジロワシを豊かな風蓮湖が支えています。



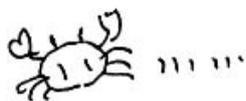
7 & 8月のイベント



お申し込み・お問い合わせは、ネイチャーセンターまで(0153-25-3047)

海の生きもの見つけにいこう

日時 7月29日(土) 9:30~12:30
対象 小学生以上 20名
(小学生は保護者同伴)
申込 7月27日まで
参加費 100円/1人(保険・資料代として)
概要 春国岱・風蓮湖周辺の海は生き物の宝箱。潮のひいた海岸で、海辺の生き物のヒミツを探りながら、こっそりかくれるヤドカリやカニたちを探してみよう。



風蓮湖・春国岱フィールド講座 ふれよう干潟 知ろう「谷津干潟」

日時 8月13日(日) 10:00~15:00
講師 (財)日本野鳥の会 芝原 達也
(谷津干潟自然観察センター担当 チーフレンジャー)
対象 高校生以上 30名
申込 8月10日まで
参加費 100円/1人(保険・資料代として)
概要 千葉県ラムサール条約湿地「谷津干潟」。そこにはどんな自然があり、どんな活動が行われているのでしょうか? 講師をお招きし、谷津干潟の自然と、そこで行われている活動についてのお話と、風蓮湖・春国岱の干潟の観察を行います。

フィールドボランティアの活動がはじまりました！

フィールドボランティア説明会 5/28

ラムサール条約湿地に登録された「風蓮湖・春国岱」をフィールドにボランティア活動してみたいと思う人たちに向けて説明会を開催しました。

ボランティア活動の説明と活動の場となる風蓮湖と春国岱の森を回り、「こんな活動ができるかも」「この花なんだろう」など、いろいろなことを感じてもらい、活動へのイメージを持ってもらいました。



風蓮湖・春国岱フィールド講座 「知ろう ふれよう ラムサール」 7/2

ラムサール条約湿地に登録されて、8ヶ月がたちました。フィールド講座の最初はやはりラムサール条約についてということで、釧路国際ウエットランドセンターの新庄久志氏に、ラムサール条約の生い立ちから今に至るまで発展しながら進んできていることなどを海外の事例や参加者とディスカッションを通して教えていただきました。

ラムサール条約は国際NGOが各国政府に呼びかけてできた世界規模で渡り鳥の保護に注目したものであったが、湿地に依存する全ての植物、野生生物(人類も含む)生息の保全について普及することあらゆる湿地を対象にすること、そこにワイズユースという考え方をいれて取り組んできていること、そして世界的に重要な湿地ということで8つの基準があることなどを教えていただいた。

そして今ラムサール条約締約国会議では、水資源の保全、地球環境の保全



講師：新庄久志氏
(釧路国際ウエットランドセンター)



に注目していること、その中で、泥炭地が重要な役割をしていることなどを話され、根室には風蓮湖・春国岱だけでなく、たくさんの湿原、湿地、泥炭地があるんだよ、これを機会にそれらを結んでいくために考えていって欲しいという言葉が印象的であった。

講演やディスカッションを終えた後、実際に風蓮湖・春国岱の環境や湿地に生える植物などを観察したり、話し合ったりしながらみんなまで歩きました。

春国岱 鳥と花の情報収集調査 7/8

6/17に予定していた活動が雨のため延期になり、7/8に春国岱の鳥と花の簡単な調査を行いました。アッケシソウやウミミドリが見られました。調査で見られたものをファイルにまとめ来園者が見られるようにしました。ネイチャーセンターの入口情報コーナーに置いてあります。散策の前にチェックしてみてください。



あなたも風蓮湖・春国岱で活動してみませんか

ネイチャーセンターでは、フィールドボランティアを募集しています。

自然の好きな方、子供が好きな方お待ちしております。

詳しくは、ネイチャーセンターのレンジャーまでお問い合わせください。



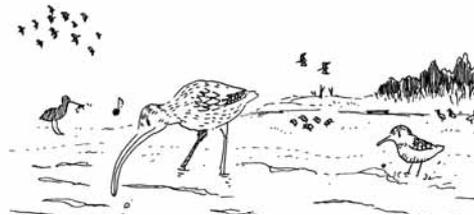
ネイチャーセンター日記

6月19日にタンチョウ繁殖状況調査に行きました。今年は昨年に比べ、雛の数も多く、7月現在も多くの場所で順調に成長しています。その他、森や草原でも、小鳥たちの巣立ち雛が出てきて親鳥から餌をもらい、すくすくと育っています。パンビや子ギツネなどにも出会う、根室の生き物は子育ての真っ最中です。

8月に入ると風蓮湖の干潟には、シベリヤで一足早く子育てを終えた渡り鳥のシギ・チドリたちが戻ってきます。

この仲間は、親子別々で渡ってきます。

そのため、今年生まれた鳥たちにとっては、初めての渡りでオホーツク海を越え風蓮湖で一休みといった所でしょうか。



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp



団体向けプログラムのご案内

野外解説 (1~2時間 / 10~20名)

自然のお話 (25分 / 10~45名)

自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)

タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム

(0.5~2時間 / 10~20名)

事前申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等にらせていただきます。

~ 雑学クイズ ~

今月の表紙にもなっているアオサギ。英語ではなんと言うでしょう？

Blue Heron

Blue は青色という意味

Grey Heron

Grey は灰色という意味

Black Heron

Black は黒色という意味

答えは右側

サギは英語で Heron と言います。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

住所 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

電話 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

7・8月の開館時間 9:00~17:00(9月まではこの時間で閉館)

7・8月の休館日 7/5・12・18・19・26 8/2・9・16・23・30



2006.7 発行

クイズの答えは…